



平成 26 年 3 月期 第 3 四半期決算短信（非連結）

平成 26 年 2 月 25 日

会 社 名 マイコロジーテクノ株式会社

グリーンシート銘柄

コード番号 3145

本社所在都道府県 新潟県

本社所在地 新潟県新潟市東区山木戸八丁目 4 番 8 号

問い合わせ先 責任者役職名 代表取締役社長

氏 名 津野 芳彰

T E L (025)250-7335

1. 平成 26 年 3 月期第 3 四半期の業績（平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日）

(注) 1. 本四半期決算短信の数値は、未監査です。

2. 千円未満は切り捨てて表示しております。

(1) 経営成績

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益	
	千円	%	千円	%	千円	%
26 年第 3 四半期	27,753	(140.9)	△34,129	(-)	△35,987	(-)
25 年第 3 四半期	19,690	(189.1)	△38,173	(-)	△39,794	(-)

	当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総 資 産 経常利益率	売 上 高 経常利益率
	千円 %	円 銭	円 銭	%	%	%
26 年第 3 四半期	△35,987 (-)	△480 56	- -	480.8	△35.0	△ 130.0
25 年第 3 四半期	△39,794 (-)	△537 47	- -	△97.4	△34.7	△ 202.1

(注) 1. 期中平均株式数 26 年第 3 四半期 74,885 株 25 年第 3 四半期 74,040 株

2. 会計処理の方法の変更 有 ・ (無)

3. 潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1 株 当 たり 純 資 産
	千円	千円	%	円 銭
26 年第 3 四半期	83,613	△21,736	△26.0	△290 26
25 年第 3 四半期	113,263	20,953	18.4	△282 99

(注) 期末発行済株式数 26 年第 3 四半期 74,885 株 25 年第 3 四半期 74,040 株

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	千円	千円	千円	千円
26年第3四半期	△ 12,404	△ 119	18,000	6,260
25年第3四半期	△ 11,840	△ 658	15,000	13,688

2. 平成26年3月期の業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金（円）				
				第1四半期	中間期末	第3四半期	期末	年間
	千円	千円	千円					
通 期	81,300	△11,933	△11,933	—	0	—	0	0

（参考）1株当たり予想当期純損失（通期）159円 35銭

上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

平成 26 年 2 月 25 日

第 11 期 第 3 四半期報告書

(平成 25 年 10 月 1 日から平成 25 年 12 月 31 日まで)

会社名 (定款上の商号)	マイコロジーテクノ株式会社
英 文 名	MYCOLOGY TECHNO. CORP.
コ ー ド 番 号	3145
代表者の役職氏名	代表取締役 津野 芳彰
本店の所在の場所	新潟県新潟市東区山木戸八丁目 4 番 8 号
電 話 番 号	025-250-7335
連 絡 者	代表取締役社長 津野 芳彰

I 四半期の業績

(1) 損益計算書

(単位: 千円)

期 別 科 目	第 11 期 第 1 四半期	第 11 期 第 2 四半期	第 11 期 第 3 四半期	当期累計	前年同期累計
	自平成 25 年 4 月 1 日 至平成 25 年 6 月 30 日	自平成 25 年 7 月 1 日 至平成 25 年 9 月 30 日	自平成 25 年 10 月 1 日 至平成 25 年 12 月 31 日	自平成 25 年 4 月 1 日 至平成 25 年 12 月 31 日	自平成 24 年 4 月 1 日 至平成 24 年 12 月 31 日
	金 額	金 額	金 額	金 額	金 額
I 売上高	7,736	11,721	8,296	27,753	19,690
II 売上原価	3,069	7,242	1,778	12,090	10,849
売上総利益	4,666	4,478	6,517	15,662	8,840
III 販売費及び一般管理費	15,537	17,089	17,165	49,792	47,013
営業損失	10,870	12,610	10,647	34,129	38,173
IV 営業外収益	285	191	380	858	480
V 営業外費用	1,116	597	1,002	2,716	2,100
経常損失	11,702	13,016	11,269	35,987	39,794
税引前四半期(当期)純損失	11,702	13,016	11,269	35,987	39,794
法人税、住民税及び事業税	-	-	-	-	-
四半期(当期)純損失	11,702	13,016	11,269	35,987	39,794

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

期 別 科 目	第 11 期 第 1 四半期	第 11 期 第 2 四半期	第 11 期 第 3 四半期	当期累計	前年同期累計
	自平成 25 年 4 月 1 日 至平成 25 年 6 月 30 日	自平成 25 年 7 月 1 日 至平成 25 年 9 月 30 日	自平成 25 年 10 月 1 日 至平成 25 年 12 月 31 日	自平成 25 年 4 月 1 日 至平成 25 年 12 月 31 日	自平成 24 年 4 月 1 日 至平成 24 年 12 月 31 日
期中平均株式数	74,885 株	74,885 株	74,885 株	74,885 株	74,040 株
1 株当たり四半期 (当期) 純損失	156 円 27 銭	173 円 81 銭	150 円 48 銭	480 円 56 銭	537 円 46 銭
潜在株式調整後 1 株当たり 四半期 (当期) 純利益	-	-	-	-	-

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期) 純利益につきましては、潜在株式が存在しないため記載していません。

(2) 事業部門別売上高

(単位：千円)

期 別 事業の種類	第 11 期 第 1 四半期 自平成 25 年 4 月 1 日 至平成 25 年 6 月 30 日	第 11 期 第 2 四半期 自平成 25 年 7 月 1 日 至平成 25 年 9 月 30 日	第 11 期 第 3 四半期 自平成 25 年 10 月 1 日 至平成 25 年 12 月 31 日	当期累計 自平成 25 年 4 月 1 日 至平成 25 年 12 月 31 日	前年同期累計 自平成 24 年 4 月 1 日 至平成 24 年 12 月 31 日
マイコロジー事業	—	—		—	—
健康食品販売事業	7,736	11,721	8,296	27,753	19,690
合 計	7,736	11,721	8,296	27,753	19,690

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(3) 貸借対照表

(単位：千円)

期 別 科 目	第10期末	第11期第1四半期	第11期第2四半期	第11期第3四半期
	平成25年3月31日現在	平成 25 年 6 月 30 日現在	平成25年9月30日現在	平成 25 年 12 月 31 日現在
	金 額	金 額	金 額	金 額
(資産の部)				
I 流動資産				
1. 現金預金	41,496	8,314	783	6,260
2. 売掛金	22,137	16,249	17,963	17,061
3. 製 品	4,314	4,770	3,703	3,475
4. 半製品	1,569	2,604	2,355	2,716
5. 原材料	17,877	17,870	17,295	17,241
6. 仕掛品	30,335	29,272	28,571	30,423
7. 前払費用	552	552	552	552
8. 未収入金	373	150	9	127
9. その他	413	684	1,448	2,956
10. 貸倒引当金	△287	△287	△287	△287
流動資産合計	118,783	80,183	72,398	80,530
II 固定資産				
1. 有形固定資産				
工具器具備品	158	138	118	98
有形固定資産合計	158	138	118	98
2. 投資その他の資産				
敷 金	2,849	2,849	2,849	2,849
長期前払費用	202	179	157	134
投資その他の資産合計	3,051	3,029	3,006	2,984
固定資産合計	3,209	3,167	3,125	3,083
資産合計	121,993	83,350	75,523	83,613

(単位：千円)

期 別 科 目	第10期末	第11期第1四半期	第11期第2四半期	第11期第3四半期
	平成25年3月31日現在	平成 25 年 6 月 30 日現在	平成 25 年 9 月 30 日現在	平成25年12月31日現在
	金 額	金 額	金 額	金 額
(負債の部)				
I 流動負債				
1. 買掛金	8,062	1,204	1,759	196
2. 短期借入金	95,000	75,000	80,000	98,000
3. 未払金	2,750	2,444	2,849	3,507
4. 未払費用	-	1,114	0	1,002
5. 未払法人税等	1,341	-	-	-
6. 前受金	10	0	0	748
7. 預り金	576	1,038	1,381	1,894
流動負債計	107,741	80,801	85,990	105,349
負債合計	107,741	80,801	85,990	105,349
(純資産の部)				
II 株主資本				
1. 資本金	380,204	380,204	380,204	380,204
2. 資本剰余金				
資本準備金	328,204	328,204	328,204	328,204
資本剰余金合計	328,204	328,204	328,204	328,204
3. 利益剰余金				
その他利益剰余金				
繰越利益剰余金	△694,156	△705,858	△718,874	△730,144
利益剰余金合計	△694,156	△705,858	△718,874	△730,144
株主資本合計	14,251	2,549	△10,466	△21,736
純資産合計	14,251	2,549	△10,466	△21,736
負債・純資産合計	121,993	83,350	75,523	83,613

※記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

科 目	期 別	第10期末	第11期第1四半期	第11期第2四半期	第11期第3四半期
		平成25年3月31日現在	平成 25 年 6 月 30 日現在	平成 25 年 9 月 30 日現在	平成25年12月31日現在
発 行 済 株 式 数		74,885 株	74,885 株	74,885 株	74,885 株
1 株 当 たり 純 資 産 額		190 円 31 銭	34 円 04 銭	△139 円 77 銭	△290 円 26 銭

(4) 株主資本等変動計算書

当事業年度(自 平成 25 年 4 月 1 日 至 平成 25 年 12 月 31 日)

(単位：千円)

項 目	株主資本						純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本 合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金 繰越 利益剰余金	利益剰余金 合計		
平成 25 年 4 月 1 日残高	380,204	328,204	328,204	△694,156	△694,156	14,251	14,251
第 1 四半期中の変動額							
四半期純損失	-	-	-	△11,702	△11,702	△11,702	△11,702
第 1 四半期中の変動額合計	-	-	-	△11,702	△11,702	△11,702	△11,702
平成 25 年 6 月 30 日残高	380,204	328,204	328,204	△705,858	△705,858	2,549	2,549
第 2 四半期中の変動額							
四半期純損失	-	-	-	△13,016	△13,016	△13,016	△13,016
第 2 四半期中の変動額合計	-	-	-	△13,016	△13,016	△13,016	△13,016
平成 25 年 9 月 30 日残高	380,204	328,204	328,204	△718,874	△718,874	△10,466	△10,466
第 3 四半期中の変動額							
四半期純損失	-	-	-	△11,269	△11,269	△11,269	△11,269
第 3 四半期中の変動額合計	-	-	-	△11,269	△11,269	△11,269	△11,269
平成 25 年 12 月 31 日残高	380,204	328,204	328,204	△730,144	△730,144	△21,736	△21,736

(5) 貸借対照表及び損益計算書の作成の基本となる事項

四半期貸借対照表及び損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則及び手続は、下記事項を除き正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している会計方針は「会社内容説明書 第5【経理の状況】 1【計算書類等】 (4)【個別注記表】 ①重要な会計方針に係る事項に関する注記」をご参照下さい。

事業年度の貸借対照表及び損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則及び手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

1. 固定資産の減価償却の方法

各四半期の減価償却費は年間発生見積額の4分の1に該当する金額を計上しております。
--

2. 消費税等の会計処理

仮払消費税等及び仮受消費税等を相殺し、未収入金として計上しております。

なお、当該四半期の貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書については、会計監査を受けておりません。

(6) 会計方針の変更

該当事項はありません。

II 第11期第3四半期の業績の概況（平成25年10月1日から平成25年12月31日）

1. 会社の現況に関する事項

(1) 事業の経過および成果

当第3四半期におけるわが国経済は、減速気味の中国経済や先行き不透明な米国経済など不安定な世界経済の中、政府による経済政策への期待感や金融緩和により円安・株高で緩やかな回復傾向が続いています。

政府統計の総合窓口で平成25年11月15日に発表された「1世帯当たり1か月間の収入と支出」によると、平成25年7～9月の健康保持用摂取品（健康食品）は1,145円で、前年同期間の1,126円に比して1.7%増加しました。加速している高齢化によって、健康維持やエイジングケア等の健康食品の市場は、今後も拡大を続けると思われます。

サーチュイン遺伝子を発現して傷ついた遺伝子を修復すると言われていたレスベラトロールを加えた越後白雪茸製品「蘇りレスベラ」が多くの方々から評価を得て、売上を伸ばしています。全国に販売チャネルのある取引先から依頼を受けて「蘇りレスベラ」を粉体にした新商品も開発中です。

また越後白雪茸製品のOEM「バシックス」は、全国で説明会を開き、取扱店を拡大し、安定して受注が続いています。

栄養補給用のドリンクとして、ローヤルゼリーと越後白雪茸エキスを合わせた栄養ドリンク「アルビタ」を開発しています。予定では、平成26年1月中旬に販売開始します。

その他に、各種研究会や学会で試飲説明会を行っています。当四半期の11月22日に第4回越後白雪茸研究会で開催され、評価を得ました。

越後白雪茸の認知度を向上させるための活動を広く行っていることにより、売上向上に努めています。

また、生産の安定化をはかるため、大手茸生産会社へ生産委託しています。さらに新潟県北部の森林組合との共同で生産をはじめ、栽培技術向上と増産を目指しています。

以上の結果、当四半期の業績は、売上高8,296千円（前年同期 売上高5,831千円）、営業損失10,647千円（前年同期 営業損失12,015千円）、経常損失11,269千円（前年同期 経常損失12,509千円）、四半期純損失11,269千円（前年同期 四半期純損失12,509千円）となりました。

III 第10期通期の売上高及び利益の予測について

（単位：千円）

科 目	期 別	第10期（実績）	第11期（予測）
		自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日	自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日
売 上 高		44,184	81,300
営業利益又は損失（△）		△66,350	△11,933
経常利益又は損失（△）		△68,869	△11,933

当期純利益又は損失 (△)	△69,479	△11,933
---------------	---------	---------

IV 資金及び借入金の状況

(1) 現金及び預金の増減

(単位：千円)

科目	期別	第11期 第1四半期	第11期 第2四半期	第11期 第3四半期
		自平成25年4月1日 至平成25年6月30日	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日	自平成25年10月1日 至平成25年12月31日
現金及び預金の増減額		△33,182	△7,530	5,477
現金及び預金の四半期首残高		41,496	8,314	783
現金及び預金の四半期末残高		8,314	783	6,260

(主な増減理由)

当第3四半期における現金及び預金の増加の主な理由は、短期借入金の借入による増加額18,000千円、仕入債務による減少額1,562千円、その他流動負債による増加額2,922千円、売上債権による増加額901千円、たな卸資産による減少額1,931千円、税引前四半期純損失による減少額11,269千円、その他流動資産による減少額1,626千円等によるものであります。

(2) 短期借入金の増減

(単位：千円)

科目	期別	第11期 第1四半期	第11期 第2四半期	第11期 第3四半期
		自平成25年4月1日 至平成25年6月30日	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日	自平成25年10月1日 至平成25年12月31日
短期借入金増減額		△20,000	5,000	18,000
短期借入金の四半期首残高		95,000	75,000	80,000
短期借入金の四半期末残高		75,000	80,000	98,000

(主な増減理由)

当第3四半期における短期借入金の増加の主な理由は、健康食品事業にかかる株式会社国際総合ファイナンスからの借入による増加額18,000千円によるものであります。

V その他

該当事項はありません。

以上